



参加者
募集中

第21期

海浜陶芸教室

12回
コース



海浜陶芸教室とは

初心者から経験者まで、笠間焼の陶芸家による本格的な指導を受けることができます、全12回の講座です！

初心者大歓迎

講師やアシスタントが丁寧に教えながら作品を作れるので、初めてでも安心して陶芸が楽しめます。

自由に作れる

作るものは決まっていません。焦らずに自由に作りたいものを、自分のペースで作れます。

午後は自由参加

13時以降は自由作陶なので、自分の都合に合わせて参加できます。

金曜日

12回コース

5月10日(金)～8月2日(金) (期間中の金曜日)

※7月12日は休講となります。

土曜日

12回コース

5月11日(土)～8月3日(土) (期間中の土曜日)

※7月13日は休講となります。

募集締切

2024年4月21日(日)

※詳しい申し込み方法は、チラシの裏面をご確認ください。

時間 10:00～13:00
(13:00～15:00自由作陶)

参加費 26,000円

定員 各コース14名

場所 陶芸棟

海浜陶芸教室の魅力に迫る！

今回で第21期の開催となる海浜陶芸教室。長く愛されている秘密は、笠間焼協同組合所属の一流の陶芸家から技を教えてもらいながら、自由に作陶が出来ることや電動ロクロ、電気窯など設備が充実していることなどなど。そんな魅力あふれる海浜陶芸教室のほんの一部を、ご紹介します！

What's 笠間焼

1770年代、江戸時代中期に誕生して、1992年には伝統的工芸品に指定されました。笠間焼に使われる笠間粘土は鉄分を多く含み、そのまま焼くと赤黒い陶器が出来上がります。「特徴がないのが特徴」と言われており、先人たちの伝統的な技法を尊重しつつ、作家や陶芸家が自由な発想やアイデアで作品を制作していることをあらわしています。

ひとつの作品が出来るまで

陶芸作品はどのような工程でつくられるのでしょうか。完成までの流れを覗いてみましょう！

1
粘土購入



まずは粘土を購入しましょう。どんな作品をつくらうか、ワクワクします♪

2
菊もみ



土を練っていきます。練ることで、粘土の硬さをなくし、空気を抜くことができます。

3
成形



ろくろ成形や型起こし成形、手びねり成形など、様々な方法で形をつくっていきます。

4
素焼き



よく乾燥させ、約10～15時間、800℃まで焼いていきます。

8
仕上げ



窯出した作品をやすり等で仕上げ、完成です！

7
本焼き



釉薬をかけた作品を窯に入れて約20時間、1250～1300℃で焼いていきます。

6
施釉



素焼きをした後、または下絵をつけた後に釉薬をかけます。

5
下絵付け



素焼きされた作品に下絵を付けます。筆に絵の具や釉薬をつけて描きます。

Q&A

Q 陶芸をやったことがありません。大丈夫でしょうか。

A 講師やアシスタントが丁寧に教えながら作るので、初めてでも安心して陶芸が楽しめます。初回に配布する資料を見ながら、自分のペースで作っていきましょう！

Q 12回コースで、どのくらい作品が作れますか？

A 作る作品の大きさ・ペースにもよりますが、カップやお皿だと約10～12個作れます。

Q 自由作陶時間も講師やアシスタントに教えてもらえますか？

A 自由作陶時間も講師・アシスタントもおりますので、分からないことがあれば聞いてください！



教室の一日

10:00

教室スタート！自由に作りたいものを作っていきます。作るものに迷っている方はお気軽にアシスタントや講師に相談してください！

※お昼休憩時間は決まっておりません。各自、自由にお取りください。

13:00

まだまだ作り足りない…！という方は13時からの自由作陶時間で作陶をお楽しみください。

15:00

海浜陶芸教室終了です！お疲れ様でした♪

講師とアシスタントから一言

どなたでもそれぞれの個性に合わせ、やさしく指導します。まずは土に慣れることから始めてみましょう！

講師代表

寺本 守

海浜陶芸教室での還元焼成の作品は格別ですよ！作り方や、わからない専門用語など、どんなことでもアシスタントに気軽に聞いてください！

アシスタント代表

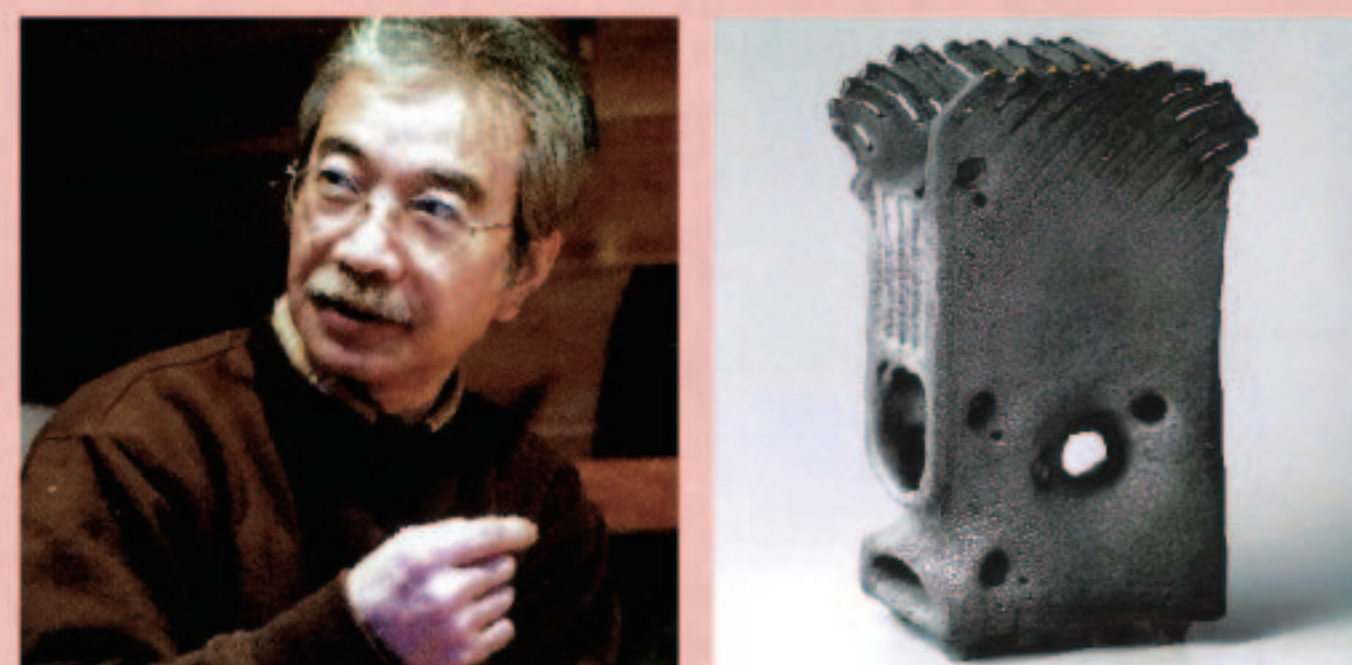
三田 聡

講師紹介

※各コース1回の教室につき、1名の講師となりますので、予めご了承ください。

金曜日コース

小林 政美



1992 茨城県芸術祭美術展(板谷波山賞) 受賞
1996 第35回日本現代工芸美術展(現代工芸大賞) 受賞
2000 第39回日本現代工芸美術展(本会員賞) 受賞
2013 パリ市立東洋美術館 チエルヌスキ美術館に風穴シリーズが収蔵

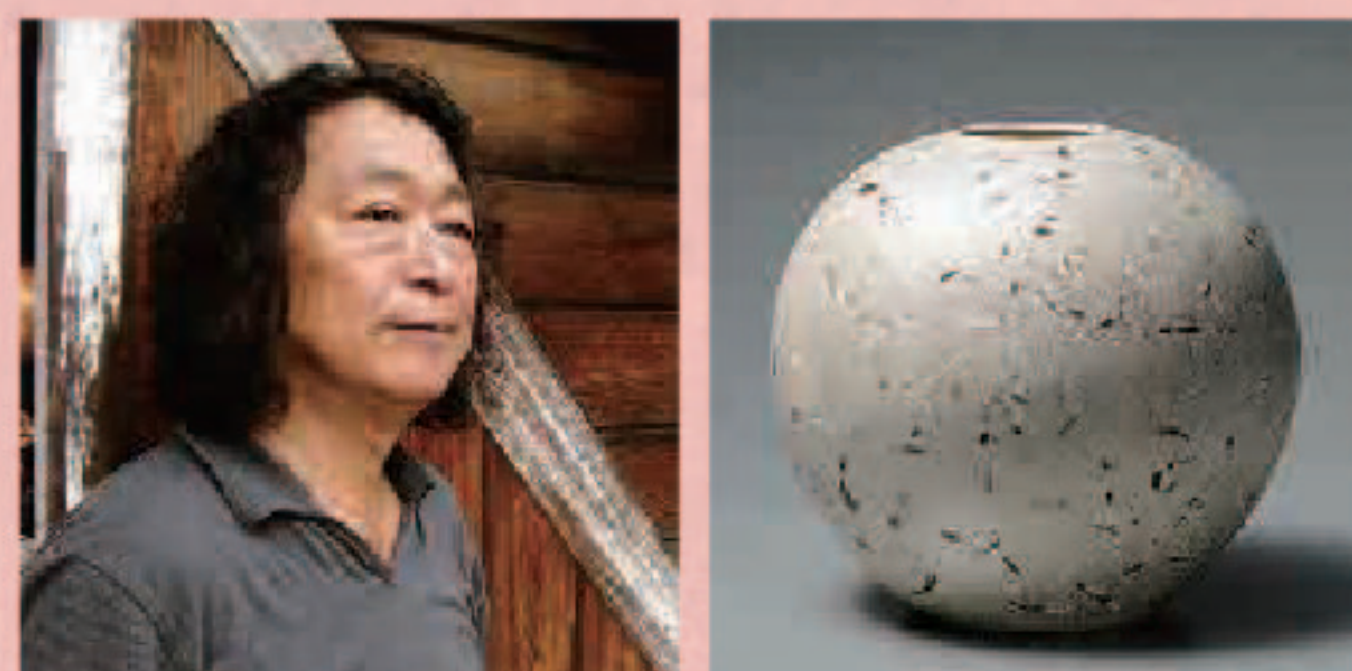
福野 道隆



2006 第46回伝統工芸新作展(東日本支部賞) 受賞
2012 第40回伝統工芸陶芸部会展(40回記念賞) 受賞
2021 第49回伝統工芸陶芸部会展(日本工芸会賞) 受賞

土曜日コース

寺本 守



2015 「伝統工芸の現在性」MOA 美術館
ホスピタルアート製作土浦協同病院
2018 第46回伝統工芸陶芸部会展(日本工芸会賞) 受賞
ドイツカールスルーエグループ展出品
2021 第61回東日本伝統工芸展(三越伊勢丹賞) 受賞

羽石 修二



2006 日本伝統工芸展入選(以後14回)
2008 東日本伝統工芸展入選(以後14回)
2021 日本伝統工芸展(日本工芸会会長賞) 受賞

参加者の声！

陶芸歴約20年

Kさん



参加したきっかけは、一流の講師に教えてもらえることでした。教室では他の参加者とお話しながら作業をするのがとても楽しいです！失敗することも多いけど、自分のイメージ通りの作品が出来た時はすごく嬉しいですよ。

陶芸歴約3カ月

Uさん



もともとものづくりが好きで「新しく何か始めたい」と思ったときに、海浜陶芸教室が目に入りました。今は蕎麦猪口を作っています。完成した作品を持ち帰る時が、とても楽しみです！

第21期海浜陶芸教室

定員 各コース14名

参加費 26,000円(税込)

参加費について

- 初回に参加費26,000円(全12回分)を頂戴します。
- コース変更や欠席される場合の振替、返金等はありません。また、一旦納入された各種代金は、理由の如何に関わらず、返金いたしかねますので、予めご了承ください。
- 粘土代・焼成費・入園料・駐車料金は別途必要となります。右の二次元バーコードを読み取り、ご確認ください。



注意事項

- 作陶は各回の時間内で行うため、原則として、粘土を家に持ち帰って作陶することはできません。工程上必要な場合は、必ず講師にご相談ください。
- 電動ロクロは7台なので、使用できない日がございます。(原則2週交代制)

ご用意いただくもの

- 汚れても良い服装またはエプロンをご持参ください。

お申し込み方法

お客様記入欄の必要事項をご記入のうえ、FAXもしくは郵送にてお申し込みください。お申し込み後、1週間以内に公園スタッフより、お電話にてお申し込み完了のご連絡をさせていただきます。**1週間を過ぎても連絡がない場合は、大変お手数ですがひたち公園管理センターまでお電話ください。**

FAX 029-265-9339 **TEL** 029-265-9001

郵送先 〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4 ひたち公園管理センター 企画係宛

4月21日(日)
必着

- 締め切り後、**応募人数が9名未満の場合は、開催中止**となります。
- 定員を超える応募があった場合には、抽選となります。
- **開催中止または落選となった場合は、4月24日(水)にお電話にてご連絡させていただきます。**
- **開催または当選の場合はご連絡いたしません。**当日開始時間までに陶芸棟へお越しください。

お客様記入欄

1、次の誓約事項をご確認のうえ、 **チェックボックスにチェックを入れてください。**

私は本教室が主催者都合で途中中止となった場合、支払い済みの参加費から経費及び現金書留郵送料が差し引かれた額が返金されることに同意します。

2、コース 金曜日コース 土曜日コース どちらでも可能

3、氏名 ふりがな

4、電話番号

5、居住地 ひたちなか市内 ひたちなか市外

6、スターターセットの購入 希望する 希望しない ※スターターセットについては、最後のページをご確認ください。

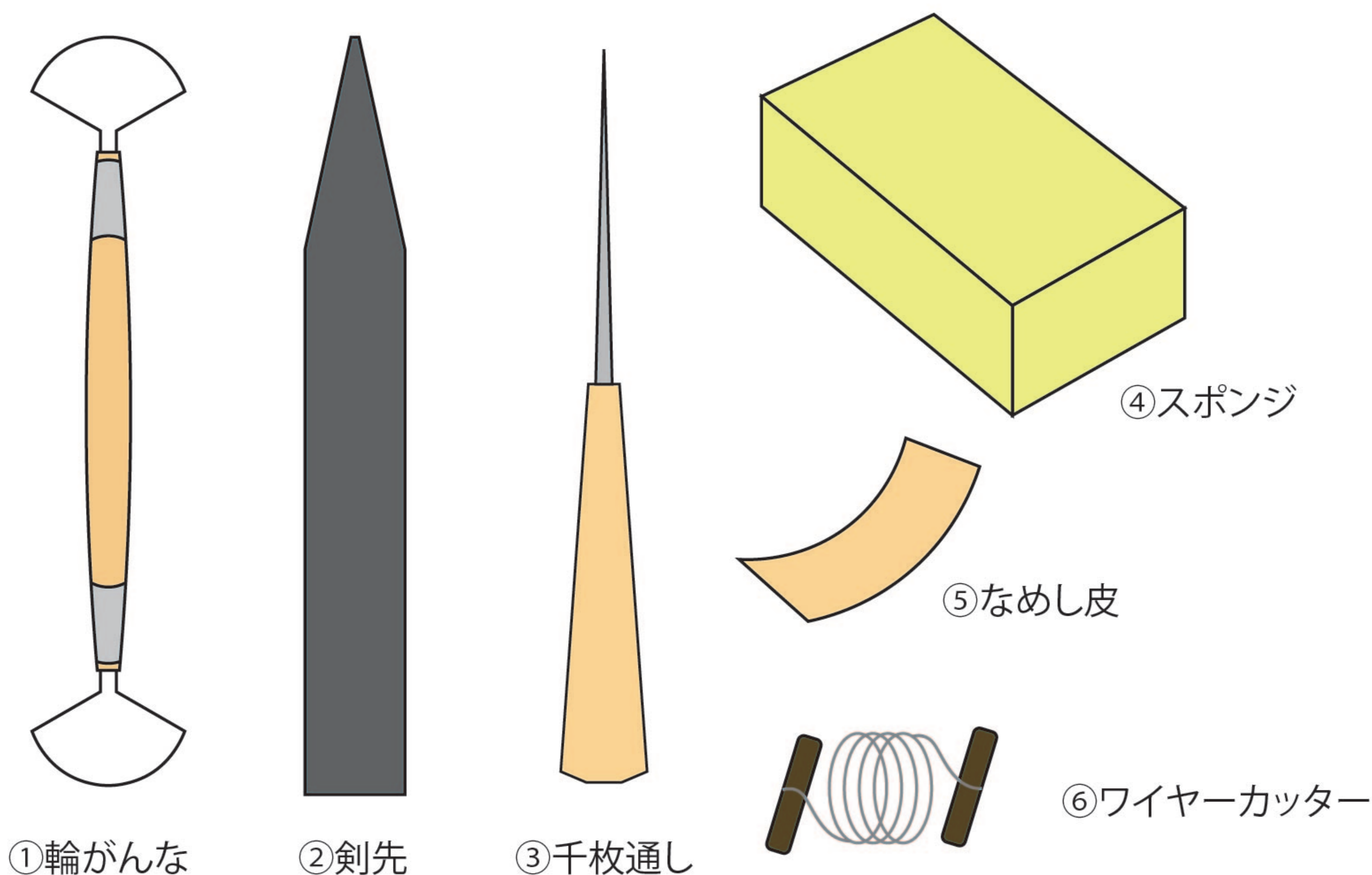
【個人情報の取扱いについて】記載されました個人情報は、海浜陶芸教室の運営・管理に関する連絡に限り利用いたします。また、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。

スターターセットの販売について

初心者の方向けに、持っている便利な道具をセットにした、「スターターセット」を販売しております。

- 道具単体での販売は行っていません。
- 初回に料金2,400円を頂戴いたします。お支払い後、スターターセットをお渡しいたします。
- 購入をキャンセルする場合には、必ず募集締切日までにお電話にてご連絡ください。
- 開催中止または落選となった場合は、自動的に購入がキャンセルとなります。

<h3>スターターセット</h3> <p>内容（ 輪がんな、剣先、千枚通し、 スポンジ、なめし皮、ワイヤーカッター ）</p>	<h2>2,400円(税込)</h2>
---	---------------------



【主な使用用途】

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| ① 輪がんな…高台の削り作業 | ④ スポンジ…釉薬の拭き取り、泥掃除 |
| ② 剣先…粘土のカット・細工 | ⑤ なめし皮…作品の口縁部・角・表面をなめらかに整える |
| ③ 千枚通し…粘土のカット・細工 | ⑥ ワイヤーカッター…粘土のカット |